



▼短冊にひとりひとりの願いごとを書いて飾りつけた後、観光交流センターへみんなで運び飾り付けられました



高森保育園「七夕飾りづくり」 おじいちゃん、おばあちゃんと楽しい交流

6月22日、高森保育園でおじいちゃん、おばあちゃんを招いての「七夕飾りづくり」が行われました。年長園児たちは、おじいちゃん、おばあちゃんと一緒に作った飾りや、思い思いの願いごとを書いた短冊などを笹に飾り付けました。できあがった七夕飾りは観光交流センターに飾られました。

▼南阿蘇鉄道の沿線自治体関係者などが参加しました



南阿蘇地域 DMV 導入期成会 DMV 導入に向けての研修会を実施

6月22日、高森総合センターで「DMV（デュアル・モード・ビークル）の開発と実用化に向けた取り組み」と題して、今村紳彌所長（JR 北海道）が講演を行いました。講演のあとは、総会が行われました。今後も JR 北海道での実証実験を見ながら、導入に向けての取り組みを行っていきます。

熊本県食生活改善推進員連絡協議会 津留五月さんへ感謝状を贈呈

5月25日、熊本県食生活改善推進員連絡協議会から津留五月さん（高森・横町）へ感謝状が贈呈されました。これは、津留さんが25年以上にわたり食生活改善推進員として優れた識見と熱意を持って食生活の改善と健康づくりに寄与してきた功績に対して贈られたものです。おめでとうございます。



▲感謝状を贈呈された津留五月さん

▼KKウイングで七夕まつりのPRを行う職員



高森湧水トンネル七夕まつり ロアッソ熊本ホームゲームで町をPR

7月1日、KKウイング（熊本市）で「ロアッソ熊本VSジェフユナイテッド千葉戦」が開催されました。会場には、高森町から持ち込んだ竹を設置、観戦客には、短冊に願い事を書いて笹に飾り付けてもらうなど、七夕まつりのPR活動を行いました。試合は、後半40分にロアッソ熊本が1点先取し、ロアッソ熊本の快勝。白熱したとてもよい試合となりました。

高森中央小学校3年生 まると高森 田楽したいけん

6月23日、高森中央小学校3年生の児童たちが田楽したいけんと題し「田楽づくり」を体験しました。これは、「食育」と「地産地消」を身を持って体験することを目的に、高森田楽村さんの協力のもと開催されたものです。みそづくりのあと、高森田楽村へ移動して自分たちで作った田楽みそに舌鼓をうち、児童たちは大喜びの様子でした。



▲保護者と一緒に田楽みそをつくる児童たち

▼多くの観光客が訪れ、短冊に願い事をしたためていました



第17回高森湧水トンネル七夕まつり 気温17℃の別世界に多くの観光客が訪れる

7月5日から8日まで「第17回高森湧水トンネル七夕まつり」が高森湧水トンネル公園で開催されました。4日間で約10,000人が来場。巨大な七夕飾り62基や「ヤマメのつかみ取り大会」なども行われ訪れた人たちを魅了しました。訪れた観光客は短冊に思い思いの願い事をしたためていました。

▼写真左は役場での職場体験のようす、写真右の2枚は農家ででの農業体験のようす

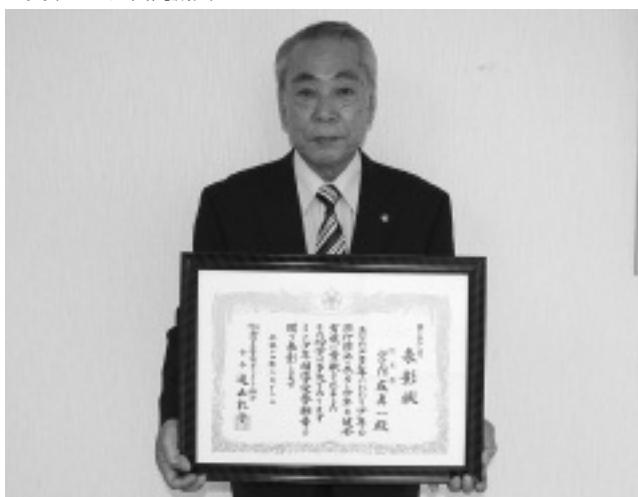


高森中学校

農業体験（1年生）、職場体験（2年生）、福祉体験（3年生）

7月17日～19日の3日間、高森中学校の生徒たち体験学習を行いました。1年生が農業体験、2年生が職場体験、3年生が福祉体験を実施しました。これは、さまざまな体験をし、生徒たちに「生きる力」を培ってもらうことを目的としています。山室さん宅で受け入れた四人の生徒たちは、キャベツの収穫、牛の肥だし、牛の去勢などの体験をしました。「毎日大変な仕事をしている農家さんは大変だなー」と話していました。

▼受章された宮内威真一さん



少年補導栄誉銅章

宮内威真一さん（高森・横町）が受章

宮内威真一さんが、全国少年警察ボランティア協会から「少年補導栄誉銅章」を受章されました。これは、宮内さんが28年間にわたり少年の非行防止に尽力し、少年の健全育成に貢献したことが認められ表彰されたものです。おめでとうございます。

社会を明るくする運動

防ごう犯罪と非行 助けよう立ち直り

7月は「社会を明るくする運動強調月間」。その一環として、本町では7月2日に役場や学校を訪れ、啓発キャンペーンを行いました。安全・安心な社会を築くには、犯罪や非行から立ち直ろうとする人たちの意欲を認め、地域社会の中に受け入れ、見守り、支えていくことが不可欠です。



▲キャラバン隊は明るい社会づくりを呼びかけました